



中間考査時間割発表

| | 22 (月) | | | 23 (火) | | 24 (水) | |
|----|--------|-----|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 1限目 | 2限目 | 3限目 | 1限目 | 2限目 | 1限目 | 2限目 |
| 1年 | 社会 | 英語① | 幾何 | 国語 | 理科 | 英語② | 代数 |
| 2年 | 国語 | 英語① | | 英語② | 社会 | 代数 | 理科 |
| 3年 | 国語 | 英語① | 数I | 数A | 社会 | 英語② | 理科 |

ノーベル医学生理学賞に選ばれた 本庶佑（ほんじょたすく）さんの言葉から



今年のノーベル賞の発表では、京都大学特別教授の本庶佑が医学生理学賞をに選ばれました。1992年に未知の遺伝子を見つけ、抗がん剤「オプジーボ」の開発につながられました。新たな治療薬が世界各地で患者の命を救い始める中での受賞となり、日本中が喜びにわきました。

本庶さんは、時代を変える研究には6つの「C」が必要だとおっしゃっています。その6つの「C」を右の表に示しました。時代を変えられるかどうかは分かりませんが、みんなが今やっている勉強も同じなのではないかと思いました。時はちょうど中間考査の時期になりました。少し振り返って頑張ってみてください。

| | |
|---------------|-----|
| Curiosity | 好奇心 |
| Courage | 勇気 |
| Challenge | 挑戦 |
| Confidence | 確信 |
| Concentration | 集中 |
| Continuation | 継続 |

豆知識

スリランカの首都名は、元大統領の名前からスリジャヤワルダナプラコッテといっています。

漢字コンテスト試験範囲

11月9日（金）には漢字コンテストがあります。試験範囲はp192～p251です。遠足や修学旅行など行事もたくさんありますが、落ち着いて一つ一つの試験にも取り組んでほしいと思います。

アートマイルを通してスリランカについて学ぶことが増えてきました。今回は1951年のサンフランシスコ講和会議において、日本の主権を擁護する演説を行って下さった当時のジャヤワルダナ・セイロン蔵相（元スリランカ大統領）のスピーチを抜粋で紹介いたします。

何故アジアの諸国民は、日本は自由であるべきだと切望するのでしょうか。それは我々の日本との永年に亘るかかわり合いの故であり、又アジア諸国民が日本に対して持っていた高い尊敬の故であり、日本がアジア諸国民の中でただ一人強く自由であった時、我々は日本を保護者として又友人として仰いでいた時に、日本に対して抱いていた高い尊敬の為でもあります。

私は、この前の戦争の最中に起きたことですが、アジアの為の共存共栄のスローガンが今問題となっている諸国民にアピールし、ビルマ、インド、インドネシアの指導者の或人達がそうすることによって自分達が愛している国が開放されるという希望から日本の仲間入りをした、という出来事が思い出されます。

セイロンに於ける我々は、幸い侵略を受けませんでした。空襲により引き起された損害、東南アジア司令部に属する大軍の駐屯による損害、並びに我国が連合国に供出する自然ゴムの唯一の生産国であった時に於ける、我国の主要産物のひとつであるゴムの枯渇的樹液採取によって生じた損害は、損害賠償を要求する資格を我国に与えるものではありません。

我国はそうしようとは思いません。何故なら我々は大師の言葉を信じていますから。大師（ブッダ）のメッセージ、

「人はただ愛によってのみ憎しみを越えられる人は憎しみによっては憎しみを越えられない。実にこの世においては怨みに報いるに怨みを以てしたならば、ついに怨みの思むことがない。怨みをすててこそ思む、これは永遠の真理である。」

はアジアの数え切れないほどの人々の生涯を高尚にしました。

仏陀、大師、仏教の元祖のメッセージこそが、人道の波を南アジア、ビルマ、ラオス、カンボジア、シャム(タイ)、インドネシアそれからセイロン(スリランカ)に伝え、そして又北方へはヒマラヤを通過してチベットへ、支那へそして最後には日本へ伝えました。これが我々を数百年もの間、共通の文化と伝統でお互いに結びつけたのであります。この共通文化は未だに在続しています。それを私は先週、この会議に出席する途中、日本を訪問した際に見付けました。又日本の指導者達から、大臣の方々からも、市井の人々（街の中にいる普通人）からも、寺院の僧侶からも、日本の普通人々は今も尚、平和の大師の影の影響のもとにあり、それに従って行こうと願っているのを見いだしました。我々は日本人に機会を与えてあげねばなりません。そうであるから我々は、ソ連代表の云っている、日本の自由は制限されるべきであるという見解には賛同出来ないのです。



福井新聞（10月6日付）に交流会の様子が紹介されました。